

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 2017年12月4日(月) ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2418 2	JAK2 V617F 遺伝子変異解析 8C491-9951-019-862 8C491-9951-046-862	血液 5.0mL	PN5 (C)	冷蔵	8~12	2100 ※2	PCR (リアルタイム PCR)	変異 検出せず	重凍 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &コ
		骨髄液 1.0mL	H00 (H)						

※2：血液学的検査判断料

●JAK2 V617F遺伝子変異解析

骨髄増殖性腫瘍である真性多血症・本態性血小板血症・原発性骨髄線維症の患者においてみられるJAK2遺伝子の変異を検出する検査です。

骨髄増殖性腫瘍（MPN）は造血器腫瘍の30%に相当する疾病群であり、血液中の様々な細胞タイプが慢性的に蓄積することが特徴の疾患です。

JAK2遺伝子（Janus activating kinase 2）のV617F変異は、骨髄増殖性腫瘍のうち真性多血症（polycythemia vera；PV）の患者の97%、原発性骨髄線維症（primary myelofibrosis；PMF）の患者の50-60%、本態性血小板血症（essential thrombocythemia；ET）の患者の55-65%にみられる変異です。本検査は、JAK2遺伝子V617F変異をとらえ、これらの疾患の診断補助を目的としています。

▼疾患との関連

骨髄増殖性腫瘍
真性多血症
本態性血小板血症
原発性骨髄線維症

▼検査要項

検査項目名	JAK2 V617F遺伝子変異解析	
項目コードNo.	24182	
検体量	血液 5.0 mL	骨髄液 1.0 mL
容器	PN5 (C) EDTA-2Na入り	H00 (H) 保存液入り
保存方法	冷蔵保存してください	
所要日数	8~12日	
検査方法	PCR（リアルタイムPCR）	
基準値	変異検出せず	
検査実施料	2100点 （「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査）	
判断料	125点（血液学的検査判断料）	
備考	重凍 凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。	
	&1	

●参考文献

van der Velden, V. H. et al : Leukemia 17 : 1013~1034, 2003. （検査方法参考文献）
James C et al : NATURE 434 : 1144~1148, 2005. （臨床的意義参考文献）